

LCCM 住宅設計部会エグゼクティブサマリー

部会長 小泉 雅生（首都大学東京大学院教授）

1. 部会活動の概要

環境設備部会、構法技術部会と連携を図りながら、建設段階、運用段階のそれぞれのフェイズで、また住空間・設備機器・建材・住まい手行動のそれぞれの分野で、住宅におけるライフサイクルカーボンの収支をマイナスにする住宅の設計手法・技術の開発およびその検証を行う。それらの手法・技術を組み込んだ、訴求力のある先導的な LCCM 住宅デモンストレーション棟の設計・建設を通じて、LCCM（ライフサイクルカーボンマイナス）住宅の普及をはかる。

2. 本年度の活動内容

本年度は設計部会としての新たな研究活動は行わず、LCCM 住宅研究・開発の一環として 2011 年 2 月に建設された LCCM 住宅デモンストレーション棟、および 2012 年 3 月に刊行された書籍「LCCM 住宅の設計手法 デモンストレーション棟を事例として」（建築技術社）を活用して、LCCM 住宅の概念および技術の普及活動を中心的行った。

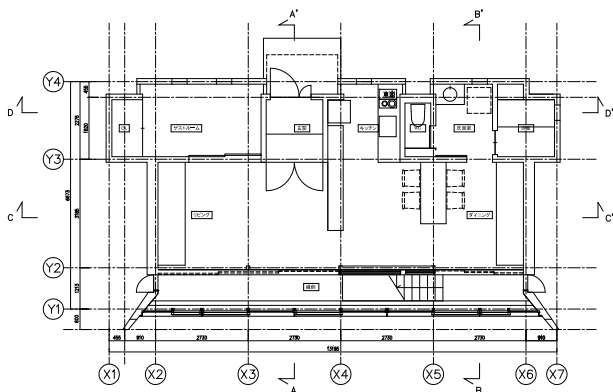


図 2-4-1 1 階平面図

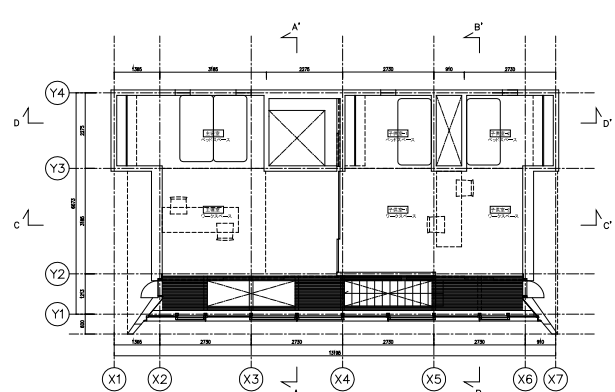


図 2-4-2 2 階平面図



図 2-4-3 デモンストレーション棟外観



図 2-4-4 デモンストレーション棟内観

2.1 LCCM 住宅デモンストレーション棟見学会

1) 見学会の概要

昨年度より継続して、建築研究所の主催で、主として建築関係者を対象とした見学会を開催した。

第8回（2012年5月16日開催）116名

第9回（2012年7月11日開催）102名

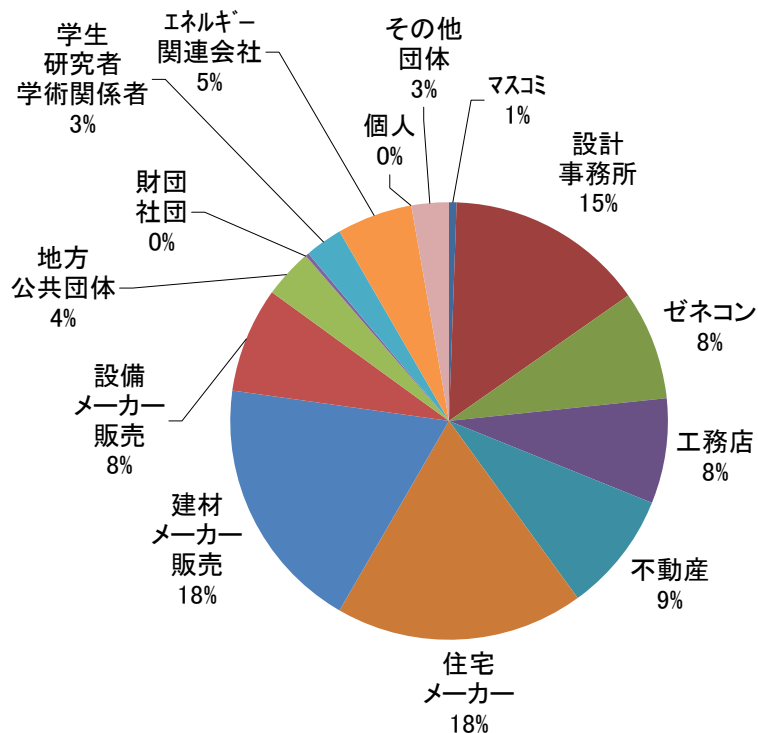
第10回（2012年9月19日開催）62名

第11回（2012年12月4日開催）99名

第12回（2013年2月27日開催）87名

見学会参加者の属性は住宅メーカー・建材メーカー・工務店・設計事務所・研究者等多岐にわたった。昨年度と比較して、住宅メーカー・設計事務所の割合が増える形となっている。

全体(8～12回集計)



図：2012年度の見学会参加者の属性